

# 平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月20日

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

(コード番号: 9044 大・名)

(URL <http://www.nankai.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 山中 諄

問合せ先責任者 取締役経理本部経理部長 須惠 弘一

(TEL: (06) 6644 - 7145)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有  
認識の方法との相違の有無

(内容)

中間連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、一部簡便な手続きを採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

(内容)

連結(新規) 0社 (除外) 5社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

当第3四半期において(株)南海スポーツは株式譲渡により、連結の範囲から除外しております。

## 2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	154,366	-	15,236	-	5,953	-	4,113	-
15年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	246,928		25,539		12,178		1,550	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第3四半期	7	92	-	-
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	2	99	-	-

(注) 四半期決算の開示は当期より実施しているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。

### [ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)のわが国経済は、株式相場の持ち直しなど一部に明るい兆しも見られましたが、デフレ経済の長期化や厳しい雇用・所得環境の影響により、先行きに対する不透明感を払拭できない厳しい状況のうちに推移いたしました。このような経済情勢の下、当社グループでは各事業にわたり積極的な営業活動を展開いたしました。当第3四半期の特に前半はSARSの影響による関西国際空港利用旅客の大幅減に伴う鉄道及びリムジンバスの輸送人員の減少等がありましたが、後半にかけては昨年10月7日にオープンしたなんばパークスの開業効果もあり、輸送人員の減少幅が縮小するなど改善の動きも見られました。当第3四半期の売上高は1,543億66百万円となりました。一方、引き続きコスト削減に努めた結果、営業利益は152億36百万円、経常利益は59億53百万円、四半期純利益は41億13百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	918,001	130,636	14.2	250.88
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	923,719	122,958	13.3	237.23

(注) 四半期決算の開示は当期より実施しているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

総資産は売掛金の回収や、連結子会社5社を連結の範囲から除外したこと等により平成15年3月期末と比較して57億17百万円減少する一方、株主資本は利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、76億77百万円増加したことから、株主資本比率は0.9%改善いたしました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	215,000	4,500	5,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 9円60銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

現時点において、通期の業績予想につきましては、前回発表時（平成15年11月27日）の予想を変更しておりません。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上